



県内の介護施設職員が、エフエム徳島から
介護の魅力を発信

Go! Go! KAIGO!

だから介護はやめられない!!





徳島県老人福祉施設協議会 21世紀委員会

最近、「介護」という言葉を耳にすることが多くなってきたと思いませんか。

テレビや新聞でも介護の話題はよく出てきますし、もしかすると

皆さんの中にも実際に、おじいちゃんやおばあちゃんが介護施設のお世話に

なっているかもしれませんね。

介護は、お年寄りを笑顔にする仕事です。

認知症になったり、身体が不自由になったりしたお年寄りや障がいのある方の

生活を支えています。

私たちは、介護のお仕事やその魅力を発信することを目的に、

令和２年11月より、若手職員16名がエフエム徳島のラジオ番組に出演し、

森本晴香アナウンサーからのインタビューに答えました。

ぜひ、介護の仕事にチャレンジして欲しいです。一緒に働きましょう。

令和３年３月

徳島県老人福祉施設協議会　21世紀委員会

（21世紀委員会委員は施設で働く若手職員で構成されています）

介護の魅力を発信

Go! Go! KAIGO!

だから介護はやめられない!!

「長生きしてよかった」と思える心のつながる介護がしたい



大幸（だいこう）さん（介護職員）

母が看護師で、子どもの頃、よく熱を出していた僕をずっと看病してくれました。そんな母の背中を見て「自分も人の役に立つ仕事がしたい」と思い始めました。また、母が夜勤の時には祖母が面倒を見てくれました。大好きな祖母にいつも「何かしてあげられたらな…」という思いでいました。僕が介護の世界に入ったのはこの二人がいたからです。

大変な事もたくさんありますが、利用者さんからの「ありがとう」は僕の宝物です。

何回ダメでも 間違っていたとしても 一万一回目には 何か変われるかもしれない



濱崎（はまざき）さん（介護職員）

私は、ドリカムの「何度でも」が自分への応援歌です。落ち込んでいる時とか頑張れない時、何回ダメでも間違っていたとしても一万一回目には何か変われるかもしれないという歌詞を介護を行うときの思いとして大切にしています。介護といえば、暗いイメージもあるかもしれませんが、そんな事はありません。利用者さんと共に過ごしていると私たちも成長できることもたくさんあります。「きらめき・感謝・感動」

小さな頃からお年寄りの方と話をするのが好きでした。人生観が豊かで勉強になります。



竹垣（たけがき）さん（介護職員）

小さい頃から、お年寄りの方と話をするのが好きだったので、高校も専門学校も福祉コースを選択しました。卒業後は、地元に帰って介護の仕事をしようと思っていました。

実際、働いてみて、認知症の方や体が不自由な方の食事の介助や日常生活を支援していくなかで、利用者さんや御家族の方から、「ありがとう」と言われると嬉しく思います。本当にこの仕事はいい仕事だと思います。

祖母とかけがえのない時間を過ごすことができました





多田（た だ）さん（介護職員）

以前は、今とはちがう仕事をして遊びに行って旅行して…。たまに家に帰ると、祖母が、毎回毎回同じ事を行ったりすることをわずらわしく思って、祖母に対して「なんでなん？」と冷たくしたり、関わりを持たないようにしていました。ですが、学校で勉強したり、実際に施設で働いてみたりして、祖母の行動や気持ちが理解できたんです。介護の勉強をしていなかったら、祖母とは疎遠なままだったと思います。 祖母との最後の３年間は会話も増え、写真もたくさん残せました。祖母も喜んでくれたかなと思っています。

介護の魅力を発信

Go! Go! KAIGO!

だから介護はやめられない!!

「ありがとう」の言葉は、心に響きます



米澤（よねざわ）さん（介護職員）



僕たちの世代は、ほとんどが共働き世帯だと思います。介護施設は休暇が充実していて、育児に対してのサポートが手厚いです。子育てが母親だけの負担とならないよう、育児目的休暇や子の看護休暇を取得し、父親も仕事と育児の両立に取り組んでいます。これからも子どもの成長を楽しみつつ、初心を忘れず、利用者さんから「ありがとう」という言葉をいつまでも言っていただけるように頑張ります。

利用者さんの役に立てたとき喜びを感じます



藤田（ふじた）さん（介護職員）

認知症があり、いつも徘徊される利用者さんが「何をしたらいいの?」「どこにいたらいいの?」とよく不安になっていて、この方にどうしたら安心して過ごしてもらえるかなと悩んでいたとき、職場の先輩がすぐに相談にのってくれました。先輩のアドバイスもあり声かけを続けていくと「良かった。ありがとう。」とこの方から笑顔が増え、嬉しかったことがありました。いざという時に頼りになる先輩がいる。私の職場は最高です。

人生最後の時と向き合う個別ケアに取り組んでいます



田渕（たぶち）さん（介護職員）

介護施設では、利用者さんが亡くなるということがあります。僕たちは、利用者さんが亡くなるまでの期間をどう過ごしていただくかをチーム全員で一緒に考えます。一人では見つけることや知ることができなかった表情や思いを違う職員が気づいていたりして、それが最後のアプローチにも繋がったりします。利用者さん一人ひとりの歩んできた道のりの違うなかで人生最後の時と向きあう個別ケアに取り組んでいます。

介護施設は、女性にとって働きやすい職場です



西村（にしむら）さん（介護職員）



ディサービスセンターで働いています。ご自宅から通ってくる利用者さんの入浴、食事介助、レクリエーション、パワーリハビリ（筋力維持）を支援しています。元気に通ってくださることを手助けできることがうれしいです。結婚後、転居してから、今の職場に転職しました。家からも近く、土日休みのディサービスセンターで勤めることができました。介護施設は、女性にとって働きやすい職場で、即戦力で働くことができます。

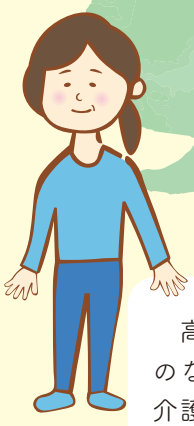
徳島県老人福祉施設協議会 21世紀委員会

介護の魅力を発信

Go! Go! KAIGO!

だから介護はやめられない!!

思い切って介護の仕事に飛び込んだら、感動をもらいました



杉本（すぎもと）さん（介護職員）

高校を卒業して全く介護とは関係のない仕事をしていました。知人から介護の資格をとらない？と誘われたのがきっかけで、介護の業界に入りました。自分が趣味で育てた花が咲いた時に、利用者さんにお渡しすると、「わぁ、待ってました。ありがとう」といってくれることが嬉しかったですね。本当に介護の仕事をしていて良かったと思います。

介護の仕事にチャレンジして欲しい。ぜひ、職場体験から。



中前（なかまえ）さん（介護職員）

僕は、高知県の専門学校に行きました。就職は地元がいいなと思って、家族の近くではたらける今の施設に就職しました。職員同士が和気あいあいして、休みの融通もきいて、働きやすい職場です。どの仕事も合う、合わないはあると思いますが経験してみないとわからないこともあると思うので近くの介護施設で、一度、職場体験をして欲しいです。大変なことも多いですけど、その分やりがいが大きい仕事です。

介護職は、人との関わりの専門職



広沢（ひろさわ）さん（介護職員）

最近は、介護の仕事って知識と技術がいるということを堂々と話せる時代になってきたかなと感じます。その知識や技術は、高齢者の方だけでなく、人を学ぶことに繋がっています。介護職は、人との関わりの専門職です。先輩職員からは、介護は五感を使ってということも教えられていて、最近は、嗅覚がすぐれてきたと自負しています。

高齢者と接するのが苦手だった私が、今では、介護の仕事の深みにはまっています。

先輩が丁寧に優しく教えてくれて、仕事に行くのがとっても楽しい



高垣（たかがき）さん（介護職員）

趣味の写真撮影でリフレッシュしながら、仕事を頑張っています。母も介護の仕事をしていました。私も人の役にたつ仕事がしたいなと思ったのが介護の仕事をしようと思ったきっかけです。利用者さんの身の回りのお世話をしながら、利用者さんの自立を支援しています。先輩が丁寧に優しく教えてくださるので、私でも基礎からしっかり覚えることができました。職場の雰囲気もよくて、仕事に行くのがとっても楽しいです。

徳島県老人福祉施設協議会 21世紀委員会

介護の魅力を発信

Go! Go! KAIGO!

だから介護はやめられない!!

利用者さんとその御家族の笑顔を守っていきたい



西浦（にしうら）さん（生活相談員）

僕は、兵庫県の介護施設で働いていました。家族が増えたこともあって、徳島に帰ってきて、今の介護施設で生活相談員として働いています。直接介護をする介護職ではなく、入居されている利用者さんやその御家族の悩みの相談窓口をしています。中には解決が難しいこともあり、辛いときもありますがそれにも勝るやりがいがあります。利用者さんからの「ありがとう」や笑顔に癒やされて、その笑顔を守る仕事をしていきたいです。

福祉が今の自分を成長させてくれました



山田（やまだ）さん（生活相談員）

趣味で、自宅の裏庭に実のなる木を育てています。春夏秋冬いろんな実が育つので利用者さんに見てもらうために木を切って持って行ったり、実を食べてもらったりしています。四季が感じられると大変、喜んでくださいます。僕たちは「助ける」のではなく「よろこんでくれたらいいな」という思いで一生懸命、取り組んでいます。日々、悩みながらも、人と繋がることの大切や生きることの難しさ、命の尊さを学んでいます。

食事を通して、利用者さんの生活を豊かにしていきたい



奥村（おくむら）さん（管理栄養士）



介護施設で管理栄養士として働いています。管理栄養士の働く職場は、病院や給食施設がありますが、私は、人と関わることが好きで利用者さんとお話ができる介護施設で働くことを決めました。利用者さんの食事の管理や栄養管理をしています。行事の時は、食事の準備が大変ですけど、その分、感謝の言葉がやりがいに繋がっています。私は、県外出身ですが、今では阿波弁も使いこなせていると思います。

介護の仕事は、これから、まだまだ必要とされている仕事です。



川内（かわうち）さん（施設長）

エフエム徳島さんの協力により「GO！GO！KAIGO! だから介護はやめられない！」で介護施設で働く若手職員の声を発信していただき感謝しています。介護の仕事は、これからまだまだ必要とされていて、その方の人生の最後の部分にたずさわる本当にやりがいのある仕事です。ぜひ、介護の仕事にチャレンジして欲しいです。一緒に働きましょう。

徳島県老人福祉施設協議会 21世紀委員会

福祉現場のイマ

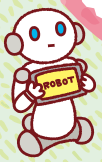
福祉の現場では、
スピーディーに変化する
時代に合わせ、
「最先端」のサービスが
広がっています!

介護の魅力を発信
Go! Go! KAIGO!
だから介護はやめられない!!

1 あのSHOPで見かけた ロボットも活躍中

介護業界で活躍するペッパーくん

ケータイショップや一般のお店でもよく見かけるようになったロボット「ペッパー」くん。そんなペッパーくんが、いま介護業界で、活躍しています。施設の利用者さんといっしょにダンスをしたり、年齢当てクイズを楽しんだり。季節の行事に合わせたコスチュームで施設の人気者になっています。福祉の現場では声かけは、とても大切なコミュニケーションです。利用している方の生活をサポートするさまざまなプログラムが次々と開発されています。



2 認知症の人の世界を 知ることから始める

VRの技術を医療・介護の世界に活かす

今、VR(バーチャル・リアリティ)の技術を使って、認知症の人の「世界」を疑似体験する取り組みが盛んになっています。
最新の技術を使って「認知症の人が生きやすい社会を作る」ための取り組みと医療・介護の関係者からも注目されています。認知症でない人が日常にありがちな出来事を通じて認知症の症状を疑似体験しています。



3 音で福祉の現場を 明るくする

音楽療法の今

音楽療法とは、音楽のもつ生理的・社会的・心理的はたらきを用いて、心身の障がいの回復、機能の維持改善、生活の質の向上、行動の変容などに向けて、音楽を意図的・計画的に使用すること。
音楽療法士という有資格者が、対象者の目的に合わせたプログラムを組み、音楽を演奏したり対象者が音楽にふれる手助けをしたりします。



4 ペットのチカラには 無限の可能性

動物との触れ合いで、人々の心を癒やすアニマルセラピー

動物とふれあうことで、心が落ち着いたり、ストレスが軽減したりなどの癒やし体験を一度はお持ちではないでしょうか。そうしたとき、不思議と元気が出てきたり、自信がついた気分になられたことでしょう。こうした「動物を通した癒し」が今、福祉の現場にも活かされています。最近では、動物ロボットのパロ「アザラシロボット」も活躍しています。

5 通常の食事を摂ることが 難しい方の「食べる機能」と 「栄養摂取」をサポートする

摂食回復支援食

見て楽しみながら、一口一口食べる食事はとても重要です。これまで加齢や病気・障がい等によって通常の食事が摂れない人は、医療現場では静脈栄養や経腸栄養により栄養補給を行っています。そこで見た目も味も普通の食事と変わらない、楽しい食事をするために工夫されたのが、摂食回復支援食であり、介護の現場で期待が高まっています。



6 高齢者だから、積極的な 筋力トレーニングが 求められている

筋力トレーニングの必要性

「起き上がる」「立つ」「歩く」「座る」「物を取る」などの日常生活に必要な動作には体のさまざまな筋力を使います。
毎日に必要な動きをトレーニングすることで、少しずつ自分で出来ることが増え、行動範囲が広がります。そんな行動が、自信や意欲にもつながり、心身ともに健全化していくのです。
スポーツの現場ではあたり前の筋力トレーニングは今、福祉の現場で求められているのです。



7 介護の現場は インターナショナル!

在留資格に「介護」を新設

2016年11月より、外国人の在留資格に「介護」が新設されました。これを受け、介護福祉士養成施設に入学する外国人留学生が増加しています。途上国への技能移転を通じた国際貢献を目的とする「技能実習制度」などと比較して、外国人留学生は専門性や定着の観点から、優秀な人材を確保する効果的な手段として注目されています。



徳島県老人福祉施設協議会

私たちは、地域を支える福祉人材の確保に取り組んでいます